

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 静岡サレジオ小学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
住所 〒424-8624
静岡市清水区中之郷3-2-1
E-mail : prim@ssalesio.ac.jp
Website : http://www.ssalesio-prim.net/
児童生徒数：男子 155名 女子 219名 合計 374名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (福祉教育)

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）

今年度は、本校の研究テーマである「国際理解と福祉教育を中心に据えたオーストラリア姉妹校との共同 ESD 授業の実践」を来年度実施するための準備期間と捉え、来年度カリキュラムの編成に努めた。

1. 国際理解

本校では、オーストラリア姉妹校との交流を通して、第二言語習得に力を入れるだけでなく、異文化理解にも努めてきた。今年度は、そのためのさらに具体的な方法として、すべての学年の英語学習における目標を「英語を学ぶ」ではなく、「英語で学ぶ」こととした。例年行っていた第5学年の夏の宿泊学習は「Asagiri English Camp」とし、オーストラリア姉妹校から3名の教員を迎え、2泊3日のイマージョン学習を行った。また、第6学年は10日間のオーストラリア修学旅行を行い、ホームステイをしながら姉妹校に通い、姉妹校の児童とともに授業を受ける経験をした。それらの活動の中で、時に文化の違いに戸惑いながらも理解し、受け入れることの大切さを学んだ。また、それらの経験を通して、自己を見つめ、自国文化尊重の精神も養われた。

2. 福祉教育

長年行ってきたチェルノブイリ原発事故への支援に加えて、東日本大震災被災者への支援にも力を入れた。毎週木曜日の弁当のおかずを減らし、献金する。もしくは、アルミ缶を回収し、換金する。という児童が主体となった方法で行われた。今年度はさらに、児童からの提案により NPO 法人チャイルド・ファンド・ジャパンの「書き損じハガキを送る」活動に協力し、活動を行った。

また、10月の本校研究会では、来年度これら2つの活動をオーストラリア姉妹校との連携を図りながら協同的に行うために、第6学年において英語ディベートの実践を行い、講師の先生や他校からの参観者からご助言・ご指導を頂いた。これにより、来年度のカリキュラムに日本語でのディベートはもとより、英語でのディベートを加え、定期的実践を重ねるとともに、第5学年での「English camp」や第6学年での「Australia Home Stay」の際に姉妹校の児童や教員と英語ディベートを行うことを決定した。今後ディベート議題の精選を進めていくが、異文化理解、環境教育、人権問題などの国際的な諸問題に対する議題から選び、これを姉妹校とともに考える ESD 研究とする。また、今後、第5、6学年での実施に向けて、第1～4学年においてはどのような活動が必要であるか考えていく。

